

いま買える! いま買おう!

木製二足歩行ロボットキット

Weird-7

製作
ガイド



寺崎 和久

現在発売されている二足歩行ロボットキットの中でも「税込み3万円以下」(定価 28,560円)と、ひときわコストパフォーマンスの高さが際立っているキットが、今回ご紹介する「Weird-7 (ウィアード・セブン) キット」(共立電子産業株式会社)です。

キュートな 木製二足歩行ロボット

このキットの特徴は、値段もさることながら、なんとといっても「二足歩行ロボットキット」というハイテクさからは想像できない「キュートな」デザイン、そしてボディパーツがすべて「木製」であるということでしょう(写真1)。数あるロボットキットの中でも、かなり異色を放っています。それもそのはず、実はこのキット、2003年2月に行われた第3回ROBO-ONEで、「木製」「安価」「誰でも作れる」、しかし「前転可能」という、それまでの常識を覆すような衝撃的デビューを遂げたロボットがキット化されたものだからです(写真2)。そのユニークなコンセプトがのちに評価され、ROBO-ONEに「Junior with Family」

クラスが設立されるきっかけにもなりました。

しかし、その外観や3万円という低価格路線とは裏腹に、スペック的には自由度が9(9個のサーボモーターを使用)と、モーションを作成する際の自由度も十分に兼ね備えています。

ボディが木製と聞くと、組み立てに不安を抱くかもしれませんが、実際には、すべての木製パーツに最初からネジ穴が空けられていて、木工工作の初心者でもプラスドライバー1本で組み立てが可能です。

キットの内容

キットの中身ですが、大きく分けて「木製ボディパーツ」「サーボモーター、制御基板、シリアルケーブル、USBシリアル変

換ケーブル」「ソフトウェアCD-ROM」の3つから構成されています(写真3)。

組立説明書は、紙に印刷されたものではなく、CD-ROMの中にHTML形式で収められています。写真とビデオがふんだんに使われたものとなっており(写真4、5)キットを組み立てたことのない初心者の方にも大変わかりやすい内容となっています。このあたりのノウハウは、さすが何十年にもわたって電子工作キットを企画・販売している会社だけのことはある、という感じで、読んでいても安心感があります。

なお、この組立説明書の抜粋が「共立電子産業ワンダーキット」のWebサイトにありますので、購入を検討する際にはぜひチェックしてみてください。

もしパソコンが近くにない環境で組み立てをするのであれば、組み立て部分の説明(約30ページ)をプリンターで印刷してから行うと便利です。その場合にも、ビデオの説明部分に、ひと通り目を通してから作業することをおすすめします。



写真1

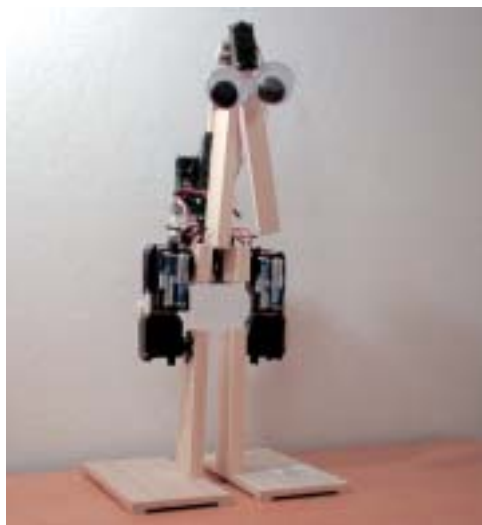


写真2



写真3